

平成 29年 11月 12月

麻生養護学校 校長室たより

麻生の風

校長 奥野 康子

11月1日は、開校記念日です。平成17年11月1日は、今年と同じ晴天でした。私は、県立市ヶ尾高校の一室で、緊張しながら初代校長の鈴木先生のお話をうかがいました。4月から川崎北部方面養護学校開設準備室として準備されていたメンバーに、兼務職員として加えていただいた日です。「インクルージョンを目指す学校」という教育理念を掲げ、麻生養護学校のミッションとビジョンとの出会いの日でもありました。

開校して12年が過ぎ、13年目に入りました。あの日の緊張感を思い出し、麻生養護学校のミッションを遂行していきたいと思います。

そして11月は、麻生養護学校の文化祭『☆柿祭』がありました。今年のテーマは高2の生徒が考えてくれた「うきうきわくわく☆柿祭」です。11月24、25日の二日間で、たくさんの来校者がありました。小学部と交流している虹ヶ丘小学校のお友達も校長先生や担任の先生と一緒に見学してくれました。ご近所づきあいのような虹ヶ丘小学校との関係も、開校時に目指してきたことです。

児童生徒の作品をお客様にたくさんほめていただきました。麻生養護学校の子どもたちの作品は、色の使い方が明るく元気になる作品ですね、という感想がありました。舞台や教室前での発表もどの子どもたちも、晴れやかな表情でした。授業の中で取り組んできたことを、自信をもって発表できたからでしょう。大きな集団やざわざわした環境が苦手な人もいますが、過ごし方を工夫しながら参加できたのではないのでしょうか。

子どもたちもお客様も、わくわくどきどき楽しい☆柿祭でした。

PTAの皆様、おやじの会のおやじ様、スマイルクラブ、ボランティアの皆さん、ご協力ありがとうございました。深く感謝いたします。

12月には、王禅寺中央中学校区の地域の方々で作る「アートフェスティバル」がありました。いつもお世話になっている王禅寺町内会の方々の作品に交じって、麻生養護学校の作品もたくさん展示していただきました。☆柿祭で展示した作品が地域に飛び出した、という感じでした。どの作品も「丁寧に作っていますね。」と褒めていただきました。恒例になってきた地域への参加、作品たちも大きな役割を果たしてくれました。